

1789.5  
三部会

第一身分( )部会 特権身分  
第二身分( )部会  
第三身分( )部会 改革を要求

89.5 の召集

★啓蒙思想の普及

{ アベ= シェイエス「」  
をめぐると特権階級と第三身分の対立

★旧制度とは

《三部会召集の背景》 重農主義者の破綻  
財政改革 {  
特権階級への課税を企図 (失敗)  
特権階級による三部会召集の要求

1789.6

[議員は三部会議員がそのまま移行]

国民議会

王党派 (特権階級の貴族や上級僧侶)  
絶対王政と旧制度の維持主張  
立憲君主派 (自由主義貴族・上層市民)  
立憲君主主義の政治を主張  
指導者 { (自由主義貴族) ( " )

89.6 国民議会の成立 (第三身分が成立を宣言)

89.6 誓い (憲法制定まで解散せず)

89.7 憲法制定に着手 [憲法制定議会]

89.7.14 **パリ民衆の蜂起**  
地方の農民の蜂起

89.8.4 『』の宣言★内容

89.8.26 『』採択★内容 土地は有償  
らが起草

89.10 行進 { 国王一家をパリへ連行  
議会も民衆監視下のパリへ

90年 議会による諸改革がすすむ

~91 { ①教会財産の没収 ③ギルドの廃止  
②アシニア紙幣の発行 ④度量衡の統一

91.9 『91年憲法』の制定 { 制  
特色 選挙 (国民の17%)

←国王による議場閉鎖

←国王が蔵相ネッケルを罷免

←国王は軍隊により国民議会の解散をはかる

←国王が両宣言の承認をこぼむ

←ローマ教皇の革命非難

←91.6 逃亡事件 (失敗)

←91.8 ピルニッツ宣言  
堯・普君主が革命干渉を表明

1791.10

[制限選挙により選出]

立法議会

フイヤン派 (自由主義貴族・上層市民)  
主義を主張  
ジロンド派 (中産市民)  
主義を主張

91.10 の成立

**立憲君主政**

92.3 **ジロンド派内閣**の成立

92.4 に宣戦布告 (革命戦争開始)

92.7 「祖国は危機にあり」の宣言

全国から がパリに集結  
革命歌「」

92.8 事件 民衆が王宮に乱入し王を幽閉

92.8 立法議会は, 召集を決定

92.9 の戦いに勝利 (革命軍の戦局好転)

←オーストリア, プロイセン軍の侵入

←地方の王党派の暴動

1792.9

[ 選挙により選出]

国民公会

ジロンド派 (中産的商工業市民)  
主義を主張  
ジャコバン派 (下層市民の支持)  
主義を主張

92.9 の成立

**第一共和政**

{ の宣言  
政樹立の宣言

国王の裁判

93.1 の処刑

英首相 が提唱

←93.3 の結成

←93.3 ヴァンデーの反革命反乱

1793.6

ジャコバン派の独裁

ジャコバン派 [山岳派] が権力掌握  
右派  
独裁  
左派 エベール  
機関 { 執行  
裁判  
警察 保安委員会

93.6 民衆が国民公会より 派議員追放

93.6 『93年憲法』の制定 特色 { 政  
( 憲法) 選挙

←対仏大同盟軍の侵入・優勢

93.7 を決議★意義

《他の改革 { ①最高価格令 ②徴兵制 ③理性崇拜  
④, 法の施行

**恐怖政治**を行い, 反革命派を処刑 (ギロチン)

93.10 マリー=アントワネット処刑  
・対外戦争を優位に挽回し, 危機を克服

1794.7

1795.10  
総裁政府

テルミドール派 (中産市民) 権力掌握  
主義を主張  
上下の二院制  
5人の総裁

94.7 の反動 ジャコバン派の処刑

★原因, 意義

95.8 『95年憲法』の制定 { 政  
《特色 選挙

95.10 の成立

{ 政府の弱体 ・経済の混乱  
左右からの反政府運動による社会不安

96.5 (共産主義者) の政府転覆計画

←王党派の反乱

1799.11

ナポレオンが権力を掌握★背景

99.11 のクーデター

英首相 提唱

←99.3 の結成